

8 野蛮人でいたい。

10 緊張感と、とことん向き合う。

12 麓から山を眺めて登頂ルートを考えているとき。それが僕にとっていちばん幸せな時間です。

14 ロマンは仕事の原動力。

16 失敗ありの人生は、とても楽しい。

18 忘れてしまいたいことなんてない。

20 恋愛は「偶然性と必然性の哲学」である。

22 いやいやしなければならぬような仕事は、さっさとやめてしまいなさい。

24 「これが自分の進むべき道かもしれない」と感じるものがあつたら、まず一步、そこに踏み出してみる。

26 目標は間違っていたってかまわない。予測はたいがい外れるものです。

28 「おまえの努力が足りないのだ」と言えるほど、人生は単純なものではない。

30 「適当なウェイトで片つけていく仕事」に満足したとき、人は危うくなる。

32 知っていることは、それほど重要なことではない。

34 まず分析し、そして想像する。

36 肯定のために、否定の作業を徹底して繰り返す。

38 思考の「攪拌効果」を生み出すディスカッション。

40 すぐに解決できない問題は、とりあえず「棚」にしまっておく。

42 ひらめきは、あきらめた瞬間にやってきた。

44 無からは何も生まれえない。

46 歩いて歩いて歩いて、歩きぬく。

48 思考に集中するには、適度なノイズが必要。

50 ベートーベンの「月光」に、研究しているときの心の動きを感じます。

52 独創性のある業績は、「習作」といふべき仕事をともなっている。

54 冒険的な試みなしに、一流の仕事は成し得ません。

56 経験が、むしろ妨げとなってしまうことがある。

58 僕たちは周回遅れの先頭を走っていた。

60 「先生」と呼ぶと返事をしてもらえなかった。

62 いじめはイヤだ！

64 僕は、理科や数学が得意なんだと錯覚した。

66 教育結果熱心が教育汚染を引き起こしている。

68 大事なのは公式や年号の暗記ではなく、ストーリーを組み立てることです。

70 本当におもしろいことは、その先にある。

72 「1・5」学ぶ。

74 「転換する力」だって、もっと評価されてもよいのではないか。

76 子どもに人生の目標設定を強いるのはナンセンス。

78 本をむさぼり読んでいるうちに、懸垂が三〇回できるようになってしまいました。

80 「意地の読書」というスタイルもある。

82 激論してケンカ別れした友達は、その後生涯の親友になった。

84 賞を「与える側」と「受け取る側」は、あくまで対等。

86 やっぱり英語は話せたほうがいい。

88 チーム力は科学者にも求められている。

90 再び、モノづくり立国へ。

92 高度になればなるほど、科学が人々から遠いものになっていく。

94 基本となるメカニズムを追究する。

96 裾野があつてこそ、頂上がある。

98 二〇年、三〇年先を見通す力を身につける。

100 世の中の動きに無関心な人間を育ててはいけない。

102 石橋をたたいて渡らず。

104 客観的に自分を見つめること。それがポジティブな生き方に結びつく。

106 学ぶということは、自由を獲得するプロセスである。

108 あと二〇〇年で、この地球上から戦争はなくなりません。